国民健康保険制度改正の動向について

１　国民健康保険税の課税限度額の引き上げ　【令和８年４月１日施行】

◇基礎賦課額（医療分）

課税限度額　〈改正前〉　66 万円　〈改正後〉　67 万円

◇子ども・子育て支援金等賦課額

課税限度額　〈新　規〉　３万円

▶ **合計課税限度額**：〈改正前〉１０９万円　〈改正後〉１１３万円

２　国民健康保険税の軽減措置　低所得者の判定所得基準額の引き上げ

【令和８年４月１日施行】

- **５割・２割軽減の所得判定基準を引き上げ**
- 物価上昇等を踏まえ、**低所得世帯への配慮を強化**

◇５割軽減基準額

〈改正前〉

基礎控除額（４３万円）＋30.５万円×（被保険者数＋特定同一世帯所属者数）＋１０万円×（給与所得者等の数－１）

〈改正後〉

基礎控除額（４３万円）＋31 万円×（被保険者数＋特定同一世帯所属者数）＋１０万円×（給与所得者等の数－１）

◇２割軽減基準額

〈改正前〉

基礎控除額（４３万円）＋５６万円×（被保険者数＋特定同一世帯所属者数）＋１０万円×（給与所得者等の数－１）

〈改正後〉

基礎控除額（４３万円）＋57 万円×（被保険者数＋特定同一世帯所属者数）＋１０万円×（給与所得者等の数－１）

３　高額療養費制度 自己負担限度額の見直し　【令和８年８月～施行】

段階的実施：令和８年８月～

- **自己負担限度額の見直し（段階的）**
- **多数回該当は原則据え置き、年間上限を新設**

（令和９年８月以降、所得区分を細分化）

【まとめ】令和８年度の国民健康保険制度改正は、「制度の持続性確保」と「低所得者・中間所得層への配慮」を重視した、**調整的・段階的な見直し**が中心